

下水道事業経営状況

資料 1 - 2

1. 平成29年度 下水道事業決算（見込み）

（1）総括事項

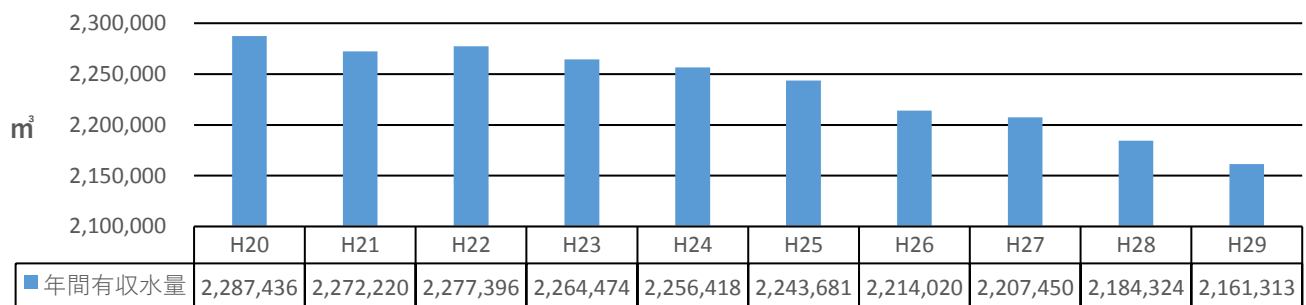
平成29年度における下水道事業の水洗化人口は、23,415人で、処理区域内人口に対する水洗化率は97.7%となっており、有収率については、前年度の有収率から3.6%増加し、64.7%となっています。

主な事業として、下水道事業地方公営企業会計移行事業（7,830千円）、下水道建設事業として、公共下水道ストックマネジメント（17,604千円）、名寄下水終末処理場機械設備更新工事（82,469千円）、下水道維持管理事業として、管渠補修工事（10,670千円）、公共枿取替工事（8,390千円）、下水処理場運営経費（199,303千円）となっております。

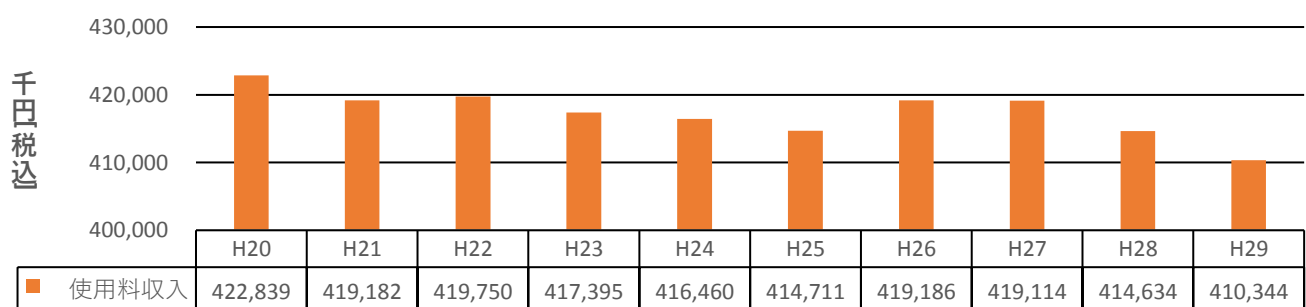
【主な施設状況】

事 項	単位	H29年度	H28年度	対前年度比較	備考
行政区域内人口	人	27,557	27,944	△ 387	住民基本台帳 3 月末人口
処理区域内人口	人	23,965	24,328	△ 363	処理区域内の 3 月末人口
処理人口普及率	%	87.0	87.1	△ 0.1	
面積普及率	%	81.4	81.4	0.0	計画区域のうち、実際に整備した区域の割合
水洗化人口	人	23,415	23,742	△ 327	住民基本台帳上の下水道利用者数
水洗化率	%	97.7	97.6	0.1	
年間総処理水量	m ³	5,513,426	6,118,981	△ 605,555	処理場に流入した汚水・雨水をきれいに処理した水量
内訳	汚水処理水量	m ³	3,341,731	△ 234,335	処理場に流入した汚水量
	雨水処理水量	m ³	2,171,695	△ 371,220	処理場に流入した雨水量
年間有収水量	m ³	2,161,313	2,184,324	△ 23,011	料金算定の対象となる家庭等で使用した水量
有収率	%	64.7	61.1	3.6	年間有収水量／年間汚水処理水量

年間有収水量の推移



使用料の推移



(2) 決算額（歳入・歳出）

平成29年度の決算状況については、全体で1,039,624千円となっており、前年度と比べて30,518千円減少しております。

歳入では、使用水量の減少による使用料の減収、交付金の減額に合わせた交付金事業の減少による市債の減となりましたが、終末処理場費の増などの要因により、一般会計からの繰入金が増額となりました。

歳出では、交付金の減額に伴う整備事業費の減が要因となり、下水道事業費で15,095千円減、支払利息等の減少により公債費が15,534千円減、消費税の増により諸支出金が111千円増額しております。

歳入

(単位：円[税込])

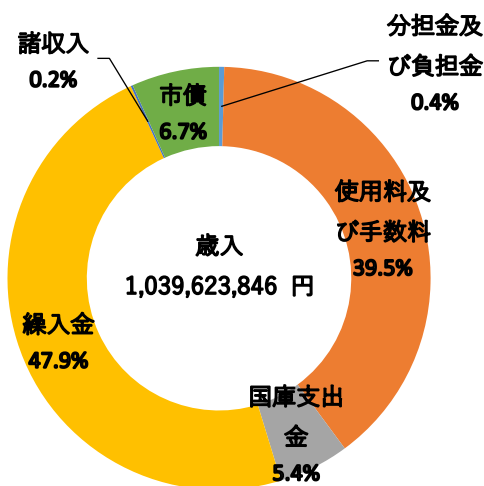
科目	H29当初予算	H29決算見込	H28決算	差額	増減率
分担金及び負担金	699,000	4,081,362	633,835	3,447,527	543.92%
使用料及び手数料	407,866,000	410,438,860	414,709,174	△ 4,270,314	△ 1.03%
国庫支出金	96,100,000	56,157,839	78,829,200	△ 22,671,361	△ 28.76%
繰入金	544,058,000	497,731,681	453,371,308	44,360,373	9.78%
諸収入	1,541,000	1,614,104	2,298,422	△ 684,318	△ 29.77%
市債	116,900,000	69,600,000	120,300,000	△ 50,700,000	△ 42.14%
合計	1,167,164,000	1,039,623,846	1,070,141,939	△ 30,518,093	△ 2.85%

歳出

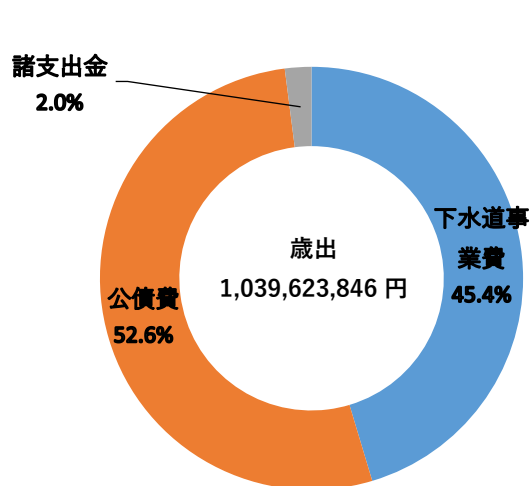
(単位：円[税込])

科目	H29当初予算	H29決算見込	H28決算	差額	増減率
下水道事業費	593,082,000	471,643,576	486,739,001	△ 15,095,425	△ 3.10%
公債費	549,782,000	546,914,543	562,448,416	△ 15,533,873	△ 2.76%
諸支出金	24,300,000	21,065,727	20,954,522	111,205	0.53%
合計	1,167,164,000	1,039,623,846	1,070,141,939	△ 30,518,093	△ 2.85%

H29 下水道事業 歳入の構成割合



H29 下水道事業 歳出の構成割合



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

（３）平成29年度の主な事業

◎下水道事業地方公営企業会計移行事業 《市債》 7,830千円

平成32年度の地方公営企業法全部適用に向けて、移行支援業務の委託を実施し、固定資産の調査・評価及び移行に係る事務の洗い出しを行った。

【事業内容】

- ・下水道事業地方公営企業会計移行支援業務委託料 7,830千円

◎下水道建設事業 《国庫支出金・市債》 127,702千円

平成31年度からの改築更新事業のため、計画策定業務の委託を実施し、施設の点検調査計画を策定した。また、下水処理施設の老朽化対策として、水処理設備及び汚泥処理設備を更新した。

【主な工事等】

- ・名寄市公共下水道ストックマネジメント計画策定業務委託 17,604千円

※下水道ストックマネジメントとは

長期的な視点で下水道施設全体の今後の老朽化の進展状況を考慮し、リスク評価等による優先順位付けを行ったうえで、施設の点検・調査、修繕・改築を実施し、下水道施設全体を対象とした施設管理を最適化すること

- ・名寄下水終末処理場機械設備更新工事（水処理・汚泥処理施設） 82,469千円

（施工前）



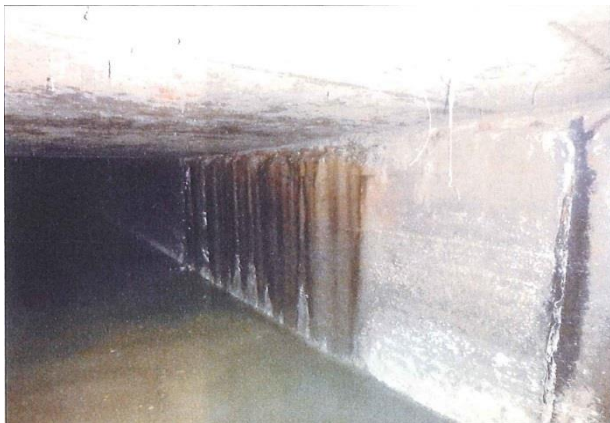
（施工後）



57,927千円

【主な工事】

・管渠内面止水工事	止水	10箇所	4,406千円
・管渠長寿命化工事	補強	A=12.76m ²	6,264千円
(管渠長寿命化工事施工前)		(施工後)	



・公共樹取替工事	災害対策	取替65箇所	6,934千円
・道路改良等に伴う公共樹取替工事		取替31箇所	1,456千円
(施工前)		(施工後)	



◎下水道終末処理場管理

199,303千円

○主要機器整備修繕事業

下水処理場の主要機器を常に信頼性の高い状況に維持するため、定期的整備及び通常修繕を行った。

○下水汚泥処理業務

名寄地区の脱水汚泥の運搬処理については、名寄有機入り肥料利用組合と連携を図り、運搬処理費の節減に努め、風連地区については汚泥の性状が異なるため肥料化するのにコストがかかるので、産廃処理を行った。

[名寄地区]	有機入り肥料490 t	運搬処理	32.4 t	804千円
--------	-------------	------	--------	-------

[風連地区]		運搬処理	206.5 t	5,463千円
--------	--	------	---------	---------

○風連浄水管理センター等維持運転管理業務

風連地区の浄水管理センター等維持管理運転委託については、24時間稼働施設なので技術経験のある業者に委託している。

・風連浄水管理センター等維持運転管理業務委託料	17,496千円
-------------------------	----------

2. 平成30年度下水道事業予算の概要

(1) 予算額（歳入・歳出）

平成30年度予算については、歳入は下水道受益者負担金の増加、使用料収入及び繰入金の減少を見込み、歳出は下水道事業費23,315千円増、公債費25,352千円の減とし、全体で1,165,127千円の予算としています。

歳入

(単位：千円[税込])

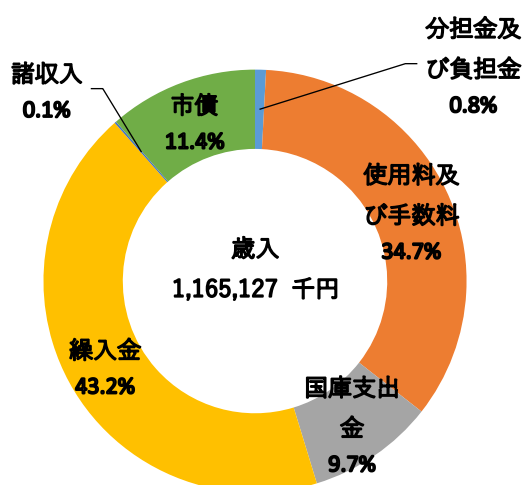
科目	H29当初予算	H30予算	差額	増減率
分担金及び負担金	699	9,723	9,024	1290.99%
使用料及び手数料	407,866	404,820	△ 3,046	△ 0.75%
国庫支出金	96,100	113,000	16,900	17.59%
繰入金	544,058	503,044	△ 41,014	△ 7.54%
諸収入	1,541	1,540	△ 1	△ 0.06%
市債	116,900	133,000	16,100	13.77%
合計	1,167,164	1,165,127	△ 2,037	△ 0.17%

歳出

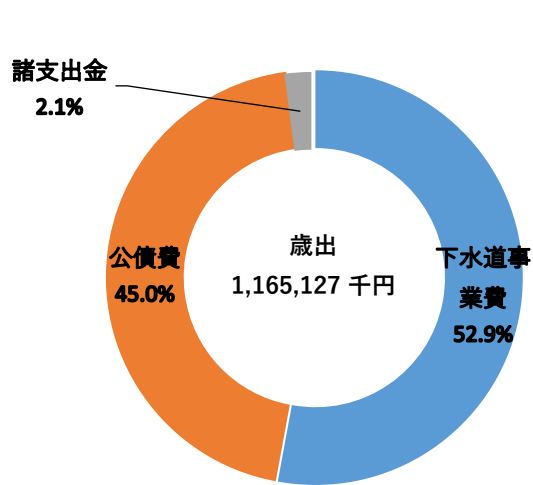
(単位：千円[税込])

科目	H29当初予算	H30予算	差額	増減率
下水道事業費	593,082	616,397	23,315	3.93%
公債費	549,782	524,430	△ 25,352	△ 4.61%
諸支出金	24,300	24,300	0	0.00%
合計	1,167,164	1,165,127	△ 2,037	△ 0.17%

H30 下水道事業 歳入の構成割合



H30 下水道事業 歳出の構成割合



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

(2) 平成30年度の主な事業

◎下水道事業地方公営企業会計移行事業 《市債》 9,685千円

平成32年度の地方公営企業法全部適用に向けた移行支援業務及び企業会計システムの構築。

企業会計化することにより、財務諸表等を通じて、経営・資産状況が把握でき、適切な経営方針を策定することができる。

◎下水道建設事業 《国庫支出金・市債》 241,443千円

昨年度に引き続き、公共下水道ストックマネジメント計画策定業務の委託を実施する。また、施設・管渠の老朽化対策として、下水処理施設の機械設備、電気設備を更新し、管渠の更生工事を行う。

・名寄下水終末処理場外機械設備更新工事	60,200千円
・名寄下水終末処理場外電気設備更新工事	77,800千円
・名寄市公共下水道ストックマネジメント計画策定業務委託	17,000千円
・名寄処理区下水道管渠更生工事	48,000千円

◎下水道維持管理事業 59,775千円

汚水管渠への雨水の侵入防止のため、止水性の高い公共枡への取替を西町1区、西町2区、西町3区で85基、道路改良工事等に合わせて41基の取替を行う。また、汚水管渠への不明水の侵入状況を調査し、水処理経費の削減を目指す。

・公共枡取替工事	13,055千円
・公共下水道不明水調査	7,000千円